

東京農業大学
厚木キャンパス
20周年シンポジウム

躍動

する

農のところで社会をデザインする

本シンポジウムでは、
4名の研究者が自身の研究を分かり易く解説し、
単に安定した食料供給だけでなく、
豊かで持続可能な社会の実現に不可欠な領域となってきた「農学」分野の
広がり・深まり・今日性・緊急性を参加者の皆様と共有いたします。

曲 農学

日時

2018年10月13日(土)
14:30 ~ 16:30 (開場 14:00)

参加

参加費無料 先着100名

https://e-karte.site/nodai/Agri_symposium2018

参加登録はコチラ！



会場

イトーキ東京イノベーションセンター

SYNQA
〒104-0031
東京都中央区京橋3-7-1
相互館110タワー

- ▶京橋駅/ 東京メトロ銀座線 2番出口直通
- ▶宝町駅/ 都営浅草線 A4出口より徒歩3分
- ▶銀座1丁目駅/東京メトロ有楽町線 A7出口より徒歩7分
- ▶東京駅/JR、東京メトロ丸の内線 八重洲南口より徒歩10分

Session.1

国産農産物の
底力を発揮するための
新品種開発

西尾 善太
農学科 准教授

Session.2

家畜の起源を探る

米澤 隆弘
動物科学科 准教授

Session.3

ボルネオ熱帯雨林の
野生動物保全への道

松林 尚志
生物資源開発学科 教授

Session.4

誰もが生きることのできる
社会にするために
『訪問かいこ』と農福連携

川嶋 舟
デザイン農学科 准教授

躍動する農学

農のこころで社会をデザインする

2018年10月13日(土) 14:30 ~ 16:30 (開場14:00)

Program

- 14:00 開場
- 14:30 開催挨拶
- 14:40 ~ セッション1 ~ 4
- 16:00 ~ ポスターセッション(16:30 終了)



Session.1

西尾 善太 にしお・ぜんた
農学科 准教授

博士(農学)。東京農業大学農学部農学科植物育種学研究室准教授。東京大学大学院農学生命科学研究科修士課程修了。農研機構、農林水産省を経て現職。専門は植物育種学。研究テーマは、作物の耐病性や品質を向上させるための技術開発。主な育成品種はパン用小麦「ゆめちから」、「キタノカオリ」等で、国産農産物の付加価値向上をめざして研究を進めている。



Session.2

米澤 隆弘 よねざわ・たかひろ
動物科学科 准教授

博士(理学)。東京農業大学農学部動物科学科動物遺伝学研究室准教授。総合研究大学院大学先端科学研究科博士課程修了。専門は、進化生物学。研究テーマは、哺乳類と鳥類の系統進化的研究、家畜の起源と地理的分散過程に関する研究。家畜化を含む生物進化と地史的・人文史的イベントとの関わりを明らかにしようとしている。

国産農産物の底力を発揮するための新品種開発

近年の研究により農作物の病気の強さやおいしさを決めている多くの遺伝子が分かるようになりました。これらの遺伝子を目印にして選抜することにより、遺伝子組み換え技術を使わずにおいしくて病気に強い品種を開発する最新の取り組みを紹介します。

家畜の起源を探る

人類の最高の発明は何でしょうか？それは家畜と栽培植物です。これらは人類の歴史を大きく動かし、地球環境をも激変させて来ました。家畜と栽培植物の歴史を知らずに、人類の歴史は理解できません。DNA 研究によって明らかになった家畜の歴史を紹介します。



Session.3

松林 尚志 まつばやし・ひさし
生物資源開発学科 教授

博士(理学)。東京農業大学農学部生物資源開発学科野生動物学研究室教授。東京工業大学大学院生命理工学研究科博士課程修了。専門は、野生動物学、哺乳類学。研究テーマは、ボルネオ熱帯雨林における野生動物の生態解明と生息地の保全。特に塩場などの野生動物が集中する環境に着目した研究、ならびに絶滅危惧種の野生ウシ・バンテンの保全に関する研究を進めている。



Session.4

川嶋 舟 かわしま・しゅう
デザイン農学科 准教授

博士(獣医学)。東京農業大学農学部デザイン農学科生活デザイン農学研究室准教授。東京大学農学生命科学研究科獣医学専攻博士課程修了。社会で生きにくさのある方を対象に、社会と関わるきっかけをつくり、生活の質を向上させ自立した生活を目指す動物介在療法を専門とする。さらに、社会で役割を持ち続けられるようにするための教育や就労の支援と新たな就労モデルの構築などに取り組む。

ボルネオ熱帯雨林の野生動物保全への道

熱帯雨林は地球上で最も生物多様性の高い地域です。しかし、その大部分は木材利用のために伐採できる商業林。どうすれば野生動物の保全と木材の利用を両立できるのでしょうか？ボルネオ島の熱帯商業林における絶滅危惧動物の生態解明と保全に向けた取り組みを紹介します。

誰もが生きることのできる社会にするために『訪問かいこ』と農福連携～誰もが自分の価値を許容され「誰もが生きることのできる社会」となることを目指し、社会参加をする機会をつくるために福祉サービスの中で養蚕に取り組む新しい農業と福祉の連携(農福連携)モデルである「訪問かいこ」について紹介します。

参加登録: URL https://e-karte.site/nodai/Agri_symposium2018



場所 / アクセス

イトーキ東京イノベーションセンター SYNQA

<https://www.synqa.jp/>

〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-1 相互館110タワー

- ▶京橋駅 / 東京メトロ銀座線 2 番出口直通
- ▶宝町駅 / 都営浅草線 A4 出口より徒歩 3 分
- ▶銀座1丁目駅 / 東京メトロ有楽町線 A7 出口より徒歩 7 分
- ▶東京駅 / JR、東京メトロ丸の内線 八重洲南口より徒歩 10 分

参加費無料
先着 100 名

参加登録はコチラ!



主催: 東京農業大学